

# 旧居留地散歩～史跡

A

## 旧三菱銀行 柱頭

MapB-1



1929年に建てられた三菱銀行三宮支店(現神戸支店)の柱頭部分が播磨町に残されています。建物の正面玄関にあった獅子のブロンズ像は、神戸ダイヤモンドビルのエントランスホールに移設され当時の風格をいまに伝えています。

B

## 居留地内の門柱

MapC-2



68番館の門柱はその後の明治15年頃に68番に住んだエッチ・ショニングの住居前にあったものと考えられています。ほかにも旧居留地内には同じ形の門柱が残されており、開港当時の面影をしのばせます。

C

## 124番の碑

MapD-3



124番が現在の東町、背中合わせの119番が伊藤町です。この2つの土地は税関に近いことから赤レンガの倉庫として使用されていました。第一次世界大戦で外国人商人が引き上げたのち兼松商店が修復した本店の通用門跡が残されています。

D

## 108番 近藤商店

MapC-2



古い建物のレンガ造りの窓廻りが伊藤町に残されています。窓枠には重量を支えるために御影石を三角に組んで載せ、レンガは現在のものよりも薄いものが用いられているのがわかります。下の社名板は昭和8年頃のもので、(2017年10月現在 非公開)

E

## 居留地の下水道

MapB-3



神戸付近で焼かれたレンガを使った居留地の下水道は、円形管と卵形管が南北道路に沿って6本1880mが敷設されました。近代下水道としては日本で一番古いもので、現在でもその一部が下水道の雨水幹線として使われています。

# 旧居留地の歴史とその魅力



居留地の風景 C・Bバーナード画(明治11年 神戸市立博物館所蔵)

## 開港からまちづくり

1858年の日米修好通商条約により、全国で5つの港を開港することが決定しました。神戸旧居留地の歴史はここから始まります。

兵庫開港は1868年。混乱した時代背景で日本人と外国人の争いを避けるために当時の兵庫の市街地から3.5km東の砂地と畑地であった神戸村の、東西は旧生田川と鯉川、南北は旧西国街道と海岸線に囲まれた約500m四方の狭い土地が外国人居留地と定められました。

砂浜だったこの場所は、英国人技師のJ.W.ハートが設計を担当し、街路、街路樹、公園、街灯、下水道などが整備され、126区画の整然とした敷地割り



神戸外国人居留地(模型 神戸市立博物館所蔵)

りが完成しました。現在も居留地の街路は当時のまま残されており、町割りや道路を境界にするのではなく、道沿いに町名をつけるスタイルが継承されています。

当時の英字新聞「The Far East」には「東洋における居留地として最も良く設計された美しい街である」と賞賛されました。なかでも海岸通のブロードは美しい景観で、時折開かれる演奏会のなかをドレスの女性が歩く姿は、まるで名画から抜け出したかのような感じといわれています。

## 文化を取り込んで発展を続けた街

居留地は貿易・経済の拠点であると同時に、サッカーや牛肉などこれまでの日本にはなかった新しい文化の窓口でもありました。コーヒーやジャズが有名ですが、洋菓子やボウリングなども神戸が発祥の街といわれています。これらも居留地に住む外国人の影響が強かったためといえます。



A.C.シム(中央左から2人目)

居留地の消防隊長であったA.C.シムはスポーツ好きを集めて

コーペ・レガッタ・アンド・アスレチッククラブ(KRAC)を発足しました。現在も外国人を中心に活動が続いています。彼はラムネ販売で成功をなした人物としても知られています。

## 居留地の返還と好景気

1899年7月に居留地は日本政府に返還されました。返還後、旧居留地には日本人が入り込み、交通網や港の整備と相まって神戸のビジネスの中心地として発展します。

1914年からの第一次世界大戦で造船ラッシュが起き、港町は好景気にわきました。さらに1923年の関東大震災によって横浜の輸出入産品が神戸へ運ばれ、神戸港はますますの発展を遂げます。



居留地返還式当日の朝 38番居留地行事局

そして時代の流れとともに、外国商館は衰退し日本の銀行や商社が次々と近代洋風建築のオフィスビルを建てていきました。

## 古くて新しいまち「旧居留地」

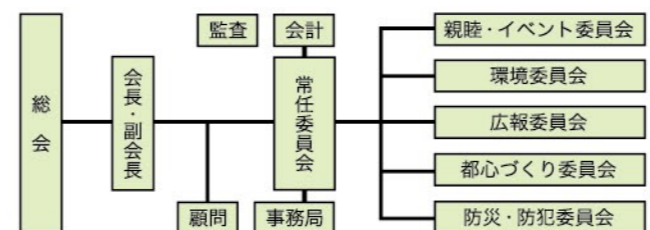
1970年代半ばから、旧居留地内に残されていた近代洋風建築物と歴史的景観が見直されはじめます。近代洋風建築を活用して高級ブランドショップやカフェなどが新たにオープンし、オフィスも増加しました。居留地は歴史的な魅力はそのままだに新しいまちに生まれ変わったのです。

現在は、春はオープンカフェ、冬はルミネリエがきらめく、観光スポットであり、地元の人にも愛される「神戸旧居留地」としてのブランドを確立しています。



# 旧居留地連絡協議会

旧居留地連絡協議会は、地区内で事業を営む法人の集まりで、第二次世界大戦後まもなく設立された歴史をもっています。現在では各種の専門委員会を設け、業種間の壁を越えて会員相互の親睦を図るとともに、地区内のまちづくり活動に積極的に取り組んでいます。



◆ **親睦・イベント委員会**  
会員相互の理解を深めるための親睦は、当会の大きな目的の一つです。様々な催しを企画し、ここで働く人達だけでなく、市民や観光客の皆さまにも楽しんでいただいております。

◆ **環境委員会**  
クリーン作戦や放置自転車対策など悪いところをなくすだけでなく、飾花活動など良いところを伸ばす視点からの活動も展開しています。

◆ **広報委員会**  
広報誌「居留地会誌」を1988年に創刊し、以後、定期的に発行しています。近年ではホームページを管理する他、テーマごとのマップなども編集し、情報発信に努めています。

◆ **まちづくり委員会**  
美しい旧居留地の街並みを維持し、一層高質なものにしていくために、各種のガイドラインを策定するとともに、建物の建設や広告物の掲出にあたっての調整を続けています。

◆ **防災・防犯委員会**  
大規模災害に見舞われたときの被害を少しでも小さくするための防災計画を策定・管理するとともに、防犯活動等、日々の安全・安心活動にも取り組んでいます。



## 防災情報

◆ **AED(心臓救命装置)が必要なときは**  
AEDは随所のビルに備え付けられています。119番通報とともに、近くのビルに助けを求めてください。

◆ **津波の発生が予想された時には**  
山側、JR線以北に避難してください。間にあわない場合は、近くのビルの3階以上に避難してください。

◆ **地震等の大規模災害時には**  
旧居留地連絡協議会では、以下のような非常時対応コーナーを設置することとしています。  
救護コーナー：けが人等のトリアージをします

大丸神戸店 (明石町40)	Map A-2	救1	朝日ビル (浪花町59)	Map B-1	救2
明海ビル (明石町32)	Map A-3	救3			

情報提供コーナー：減災のための情報を収集・提供します

大丸神戸店 (明石町40)	Map A-2	情1	朝日ビル (浪花町59)	Map B-1	情2
------------------	---------	----	-----------------	---------	----

◆ **大規模災害時、帰宅が困難な時には**  
旧居留地内の多くのビルでは、最長、発災から72時間、一時待避環境を提供することとしています。

## ユニバーサルデザインのまちづくり

旧居留地連絡協議会では「ユニバーサルデザインのまちづくり」を推進しています。

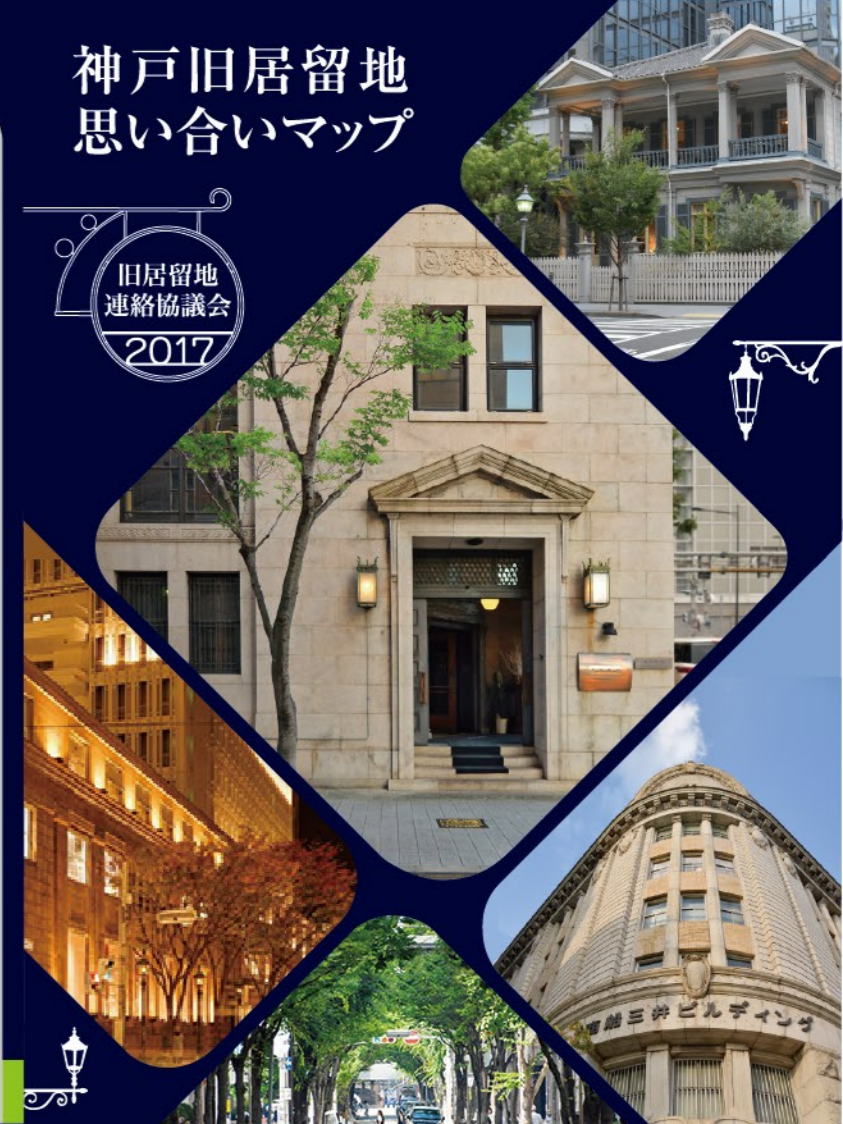
◆ **ユニバーサルデザインとは**  
年齢、性別、文化、身体状況など、人々が持つ様々な個性や違いに関わらず、はじめから誰もが暮らしやすい社会となるよう、まちや建物づくり、ものづくり、しくみづくり、意識づくりなどを行っていかうとする考えです。

◆ **まちなかの5人に2人は、何らかの配慮が必要**  
お年寄りや、子ども、赤ちゃんをつれた人、病気やけがの人、身体が弱い人、不自由な人、外国人など、まちなかの5人に2人は、日常生活を送る上で何らかの配慮が必要な人といえます。地震や津波の災害など、非常時にはその必要性はますます大きくなります。だれもお互いを思い合い、心地よく、安心して活動できるまち、そんな姿が理想です。

このマップは街の案内だけでなく、地震や津波などの大規模災害時にも役立つ内容を掲載しています。また色の見え方が一般と異なる人にも正確な情報が伝わるよう、色使いに配慮しています。

# 神戸旧居留地 思い合いマップ

旧居留地 連絡協議会 2017



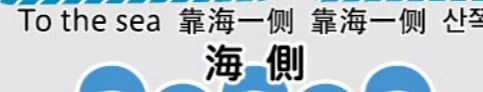
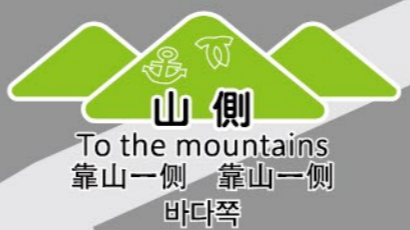
## 旧居留地周辺マップ



旧居留地連絡協議会

神戸市中央区播磨町30 大丸カーポ-17階  
Tel.078-332-0151 Fax.078-332-0052  
http://www.kyoryuchi-club.com

# 神戸旧居留地



- 内科・外科 Internal/external medicine
- 交番 Police box
- だれでもトイレ Public toilet (Multi-purpose toilet)
- 出入口 Entrance
- ビル敷地 Building premises
- 段差なし Non-step
- スロープ Ramp
- 大規模災害時対応 In the event of a major disaster
- 救1 救護コーナー Relief corner
- 救2 情報提供コーナー Information corner
- 広域避難場所 Wide area evacuation refuge
- 防災無線 (屋外スピーカー) Disaster prevention and management radio network
- 案内板 Information board
- 郵便局 Post office
- シティループバス停 City loop bus stop
- 銀行 Bank
- コンビニ Convenience Store
- 公衆電話 Public telephone
- 駐車場 Car park
- ガススタンド Gas station



**広域避難場所**  
Wide area evacuation refuge  
廣域避難場所 廣域避難場所  
광역피난장소

「だれでもトイレ」とは車いすの方、オストメイトの方、お年寄り、妊婦、乳幼児連れ、つえ使用の方、外国の方等、様々な方へ配慮された、使う人を選ばない誰でも使える「多機能・多目的トイレ」です。

アーバンライフ 神戸三宮ザ・タワー

2017年10月現在の情報を掲載しています

**1 旧居留地38番館 (旧ナショナルシティバンク神戸支店)** Map A-2

- 昭和4年(1929)
- 鉄骨鉄筋コンクリート造3階建
- 設計:ヴォーリス建築事務所

設計はヴォーリス建築事務所のW.E.ハインズ。南側の正面にはイオニア式の円柱を4本並べ、両端の目地を目立たせた石積みで引き締めたアメリカン・ルネサンス様式。



**2 ニッケビル** Map B-2

- 昭和12年(1937)
- 鉄筋コンクリート造6階建
- 設計:竹中工務店

コの字型のアメリカンスタイルの建物。1階は御影石、2階以上は乳白色のタイルが貼られていたが、タイルの剥離防止に2階以上はアルミ板で覆われている。



**3 あいおいニッセイ同和損保神戸ビル (旧神戸海上火災保険ビル)** Map B-3

- 昭和10年(1935)
- 鉄筋コンクリート造4階建
- 設計:長谷部竹腰建築事務所

当初から保険会社ビルとして建てられたアメリカンスタイルのビル。1階から3階に届く縦長のアーチ窓はロマネスク調で仕上げられ、美しいプロポーションを持っている。



**4 シップ神戸海岸ビル (旧三井物産神戸支店)** Map A-3

- 大正7年(1918)
- 【改築】平成10年(1998)
- 鉄筋鉄骨コンクリート造15階建
- 設計:河合浩蔵【改築】竹中工務店


旧海岸ビルは鉄筋コンクリート造4階建で、当時ウィーンの新建築運動であったゼツェッションの影響を強く受けている。阪神・淡路大震災後に改築。



**5 商船三井ビル (旧大阪商船神戸支店)** Map B-3

- 大正11年(1922)
- 鉄骨鉄筋コンクリート造7階建
- 設計:渡辺節建築事務所


海運業界がとりわけ華やかな頃のアメリカン・ルネサンス様式が基本の建物。石積みの外壁でありながら、優美な印象で華やかな建物なのが特徴。近年、耐震改修がされている。



**6 旧神戸居留地十五番館 (株式会社ノザフ)** Map B-3

- 明治13年(1880)頃
- 木骨煉瓦造2階建
- 設計:不詳

旧居留地内に唯一残る居留地時代に建てられたコロニアルスタイルの商館。日本風の屋根、南側にはベランダも。阪神・淡路大震災で全壊。耐震構造で復元された。国指定重要文化財。



**7 神港ビルヂング (旧川崎汽船本社)** Map B-3

- 昭和14年(1939)
- 鉄骨鉄筋コンクリート造8階建
- 設計:木下建築事務所

外壁は花崗岩が貼られ、南東角のアルデコ調の塔屋が海岸通の景観のアクセントになっている。東側入口は往年を思わせる木製の回転扉がいまも活躍中。



**8 神戸市立博物館 (旧横浜正金銀行神戸支店)** Map C-3

- 昭和10年(1935)
- 鉄筋コンクリート造3階建
- 設計:桜井小太郎建築事務所

銀行として建てられたが、内部は昭和57年に博物館として改修。正面に6本のドリアン式半円柱が並び、ほかの側面には壁柱を巡らせた古典主義様式の建築。外壁は御影石貼。



**9 チャータードビル (旧チャータード銀行神戸支店)** Map B-3

- 昭和13年(1938)
- 鉄筋コンクリート造4階建
- 設計:J.H.モーガン

正面中央に3本のイオニア式円柱を並べ、3・4階はアチック(屋根階)として下階よりも簡潔な意匠に。デザインの違う東西の庇で躍動感を出している。



**10 日本真珠会館** Map D-3

- 昭和27年(1952)
- 鉄筋コンクリート造4階建/地下1階
- 設計:兵庫県営繕課(光安義光)

1階に黒御影石、2階以上に乳白色のタイルを用いて建物全体を軽快に印象付ける。神戸では日本真珠会館とポートタワーが日本のモダニズム建築100選に選出。

